



# Messages

Home

Top

ご挨拶

Mentors

Qualifications

Program Outline

ご挨拶

## “THE 3rd EDUCATIONAL SEMINAR in JAPAN” 開催にあたって

この度、米国テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター (MDACC) は、財団法人聖ルカ・ライフサイエンス研究所との共催により、専門スタッフ10名を講師として派遣し、日本の若手医師とコメディカルスタッフを対象に、M.D.アンダーソンがんセンターにおける先進的かつシステムチックながん治療の集学的アプローチをテーマとする教育セミナーを開催いたします。

本教育セミナーは、M.D.アンダーソンがんセンターにおける多様なカリキュラムの紹介と研修を通じて、日本のがん治療を支える専門医（腫瘍外科医、腫瘍内科医、放射線治療医）および、専門コメディカルスタッフを育成する一助としていただくことを目的としております。

M.D.アンダーソンがんセンターは開設以来60年余の歴史を有し、全米No.1（2003年度USニュース&ワールド調べ）と評されているがん専門医療施設であり、ことに近年、同センターに導入された乳がん患者に対するチーム医療体制（Multidisciplinary Cancer Care）は、高度な医療を効率良く提供する画期的なシステムとして高い評価を得ています。

2002年、2003年のプログラムでは、全国より医師、看護師、薬剤師、CRCなどの方にご参加いただき、がん治療のチーム医療における各専門部門の役割について、MDACCの専門スタッフによる講演、実践的なケーススタディを用いたグループワークによる実習と参加者によるプレゼンテーションが行われました。プログラム終了後の総合評価において、両年とも高い得点を得ることができました。

第3回となる本年は、この2年間の参加者のご意見を大きく反映し、より具体的且つ実践的プログラムになるようさらに充実したプログラムを立案して参ります。がん治療に取り組む多くの皆様のご応募をお待ち申し上げます。



財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所  
 理事長 日野原 重明

日野原重明



テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター  
 病院長 ジョン メンデルソン

John Mendelsohn